

製品名：TTタルク

安全データシート (S D S)

1. 化学物質等及び会社情報

化学品の名称

製品名：TTタルク
 会社名：竹原化学工業株式会社
 住所：東京都港区西新橋1丁目13番5号 登栄西新橋ビル3階
 電話番号：03-3501-6281
 FAX番号：03-3501-6250
 緊急連絡電話番号：03-3501-6281

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理学的危険性	可燃性固体	区分外	
	自然発火性固体	区分外	
	自己発熱性化学品	区分外	
	水反応可燃性化学品	区分外	
	酸化性固体	分類できない	
	金属腐食性物質	分類できない	
	健康に対する有害性	急性毒性	分類できない
		皮膚腐食性・刺激性	分類できない
		眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	分類できない
		呼吸器感作性	分類できない
環境に対する有害性	皮膚感作性	分類できない	
	生殖細胞変異原性	分類できない	
	発がん性	分類できない	
	生殖毒性	分類できない	
	特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	分類できない	
	特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	区分2(肺)	
	吸引力呼吸器有害性	分類できない	
	水生環境急性有害性	分類できない	
環境に対する有害性	水生環境慢性有害性	分類できない	
	オゾン層への有害性	分類できない	

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語
 危険有害性情報
 注意書き

警告
 長期又は反復暴露による肺の障害のおそれ

【安全対策】
 使用前に取り扱い説明書を入手すること。
 全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
 粉じんを吸入しないこと。
 取扱い後は手をよく洗うこと。
 この製品を使用するときに飲食または喫煙をしないこと。
 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／防塵マスクを着用すること。

【救急処置】
 皮膚に付着した場合 多量の水と石けんで洗うこと。
 皮膚刺激が生じた場合 医師の診断／手当てを受けること。
 眼に入った場合 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 眼の刺激が続く場合 医師の診断／手当てを受けること。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合 医師の診断／手当てを受けること。
 吸入した場合 患者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 気分が悪いときは医師の診断／手当てを受けること。
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
 汚染された衣類は持ち帰らないこと。

【保管(貯蔵)】
 施錠して保管すること。

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

【廃棄】

内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質

化学名 : 含水ケイ酸マグネシウム
別名 : タルク
CAS番号 : 14807-96-6
官報公示整理番号 : データなし

(基安化発第0828001号によるアスベストは含有していません。)

4. 応急措置

吸入した場合

: 患者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。呼吸に関する症状が出た場合又は長期間曝露された場合は医師の診断／手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

: 多量の水で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合は医師の診断／手当てを受けること。

眼に入った場合

: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は医師の診断／手当てを受けること。

飲み込んだ場合

: 気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。

5. 火災時の措置

消化剤

: 不燃性。周辺の火災時には適切な消火薬剤を使用する。

使ってはならない消化剤

: 棒状注水

特有の危険有害性

: 必要に応じた換気を確保する。

特有の消火方法

: 移動可能な容器は安全な場所に移す。移動不可能な容器は周囲を水噴霧で冷却する。

消火を行う者の保護

: 周辺の火災消火作業には適切な空気呼吸器、防護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

: 関係者以外の立ち入りを禁止する。

保護具及び緊急時処置

: 作業には適切な保護具(8. 暴露防止及び保護措置参照)を着用する。

必要に応じた換気を確保する。

環境に対する注意事項

: 漏出物は土壌、下水、河川を汚染しないように回収する。

封じ込め及び浄化方法

機材 : 漏出物は容器に掃き入れ回収する。

湿らせても良い場合は、粉塵を避けるために湿らせてから掃き入れる。

二次災害の防止策

: 床面に残ると滑る危険があるため、こまめに回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

: 作業には適切な保護具(8. 暴露防止及び保護措置参照)を着用する。

局所排気・全体排気

: 適切な局所排気装置(8. 暴露防止及び保護措置参照)の元で注意して取り扱う。

安全取扱い注意事項

: 粉じんを吸入しない。屋外又は換気の良い区域でのみ使用する。

眼との接触を避ける。

接触回避

: 10. 安定性及び反応性参照

衛生対策

: 取り扱い時に、飲食や喫煙をしない。取扱い後はよく手を洗う。

保管

技術的対策

: 保管場所には貯蔵／取り扱いに必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。

混触禁止物質

: 10. 安定性及び反応性参照

保管条件

: 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

容器包装材料

: 密封可能な破損しない容器が望ましい。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度

: データなし

許容濃度

: 第1種粉塵 吸入性粉塵 0.5mg/m³ 総粉塵 2mg/m³ (日本産業衛生学会)

設備対策

: 粉塵飛散対策として集塵装置等の設置が必要。

保護具

呼吸器の保護具

: 空気中濃度に応じた防塵マスク着用

手の保護具

: 保護手袋着用

眼の保護具

: 保護眼鏡着用

皮膚及び身体の保護具 : 保護服、保護長靴着用

9. 物理的及び化学的性質

外観	: 白色微粉末
臭い	: なし
pH	: 7.0-11.0 (10%、20°C)
融点・凝固点	: 900~1,000°C (分解)
沸点、初留点及び沸騰範囲	: データなし
引火点	: 不燃性
爆発範囲	: 不燃性
比重(相対密度)	: 2.7g/cm ³
水に対する溶解度	: 不溶
自然発火温度	: 不燃性
分解温度	: 900~1,000°C

10. 安定性及び反応性

反応性・化学的安定性	: 安定である。
危険有害反応可能性	
避けるべき条件	: 粉塵の発生を抑える。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: データなし

11. 有害性情報

急性毒性	: データなし
皮膚腐食性・刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: 眼に入ると物理的な刺激が現れることがあるが、データ不足のため分類できない。
呼吸器感受性・皮膚感受性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: 3:ヒトに対する発がん性について分類できない(IARC 2010)
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器・全身毒性(単回暴露)	: 気道に物理的刺激を引き起こすことがあるが、データ不足のため分類できない。
特定標的臓器・全身毒性(反復暴露)	: 吸入の場合、長期または反復暴露により肺に影響を与え、塵肺症を生じることがあることから、区分2とした。
吸引性呼吸器有毒性	: データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	: データなし。但し、水に不溶性であるため、毒性は弱いと思われる。
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし。但し、水不溶性であるため、移動性は弱いと思われる。
オゾン層への有害性	: データなし。但し、不揮発性であるため、オゾン層への有害性は低いと思われる。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。 都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に業務委託する。
汚染容器及び包装	: 国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。 都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に業務委託する。

14. 輸送上の注意

国内規制	
陸上規制情報	: 消防法、労働安全衛生法等の規定に従う。
海上規制情報	: 船舶安全法、港則法等の規定に従う。
航空規制情報	: 航空法等の規定に従う
国連番号	: 該当せず
海洋汚染物質	: 該当せず。海洋汚染防止法等の規定に従う。
特別の安全対策	: 直射日光を避け、容器の破損、漏れのないよう積み崩れの防止を確実にこなう。

15. 適用法令

国内適用法令	
労働安全衛生法	: 名称等を表示・通知すべき危険物及び有害物に該当せず

製品名 : TTタルク

改訂日 : 2016年1月12日

Ver.3-3

化審法 : 特定化学物質・監視化学物質に該当せず
改定化学物質管理促進法(PRTR法) : 該当せず
その他適用法令 : じん肺法、粉じん障害防止規則

物質登録情報
TSCA : 有り (Talc)
EINECS(ELINCS) : 238-877-9 (Talc)

16. その他の情報

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載データや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、記載事項は通常の手続きを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施のうえ、お取扱い願います。

以 上